

式 辞

新入生の皆様、御入学おめでとうございます。宮崎国際大学全教職員を代表してお祝い申し上げます。

また、皆様の努力を愛情深く支えてこられたご家族、御親族および関係者の皆様に心より、お礼とお祝いを申し上げます。コロナウイルス感染症が昨年5月に2類から5類に引き下げられ、長いトンネルから抜け出しました。まだ完全に終息したわけではございませんが、皆様と、このように入学式を行えることを、心から喜びたいと思います。

さて、これからの大学4年間は皆様にとって社会に出て活躍する準備期間、あるいは自分の今後の人生設計のための準備期間として、極めて重要なものです。専門的知識の修得はもちろんですが、様々なことに興味を持っていただき、自分を客観的に見るメタ知能や批判的思考力を十分に身につけていただきたいと思います。また、宮崎国際大学では留学生の皆様への入学を心から歓迎いたします。留学生の中には、初めて日本にいらっしゃった方もいるでしょう。早く日本に慣れていただき、皆様が自国と宮崎をつなぐ架け橋として活躍できる人材になることを期待しています。また、大学院修士課程に入学した方々は、これからの2年間、これまでに培った見識をさらに深め、ぜひ、リーダーとして活躍する力を身に付けてください。

さて、現代社会は、一言で言えばグローバル社会と情報化社会です。政治・経済・文化など、様々なレベルで国境を越えたやりとりが行われるのは当たり前になっています。新型コロナウイルスの全世界での拡散速度や世界的なワクチン普及、また、他国の情報や個人情報が瞬時に世界に拡散することは、これらを実感させる例かもしれません。生成系 AI や Society 5.0 での ICT 技術は大学の教育現場においても大きく影響しており、本学も令和7年度の開設を目指し、すでに通信教育課程の設置計画を文部科学省に申請しています。一方で、急速な近代社会の進歩とは裏腹に、多くの課題も山積してきています。現在でも日々の食べものが手に入らない極度の貧困層が世界には約5～7億人いるといわれています。また、地球の温暖化問題、エネルギー問題あるいは国家間の紛争や戦争なども大きな世界的問題です。

このような世界的問題を解決するためには、少なくともダイバーシティが重要だと考えられています。ダイバーシティの意味は「組織において、国籍や性別、年齢などの違いを受け入れ、それぞれの多様な価値観や発想を活かすこと」です。お互いがお互いを尊重し合うことは非常に重要なことです。宮崎国際大学で、皆様はグローバル社会や情報化社会の仕組みを理解し、ダイバーシティの理念をしっかりと身に付けていただきます。

ところで、大学では、皆様がこれまで受けて来た中学校、高等学校の教育方法とは異なるスタイルでの教育を受けることとなります。いままでの受動的な学びの姿勢、つまり先生が授業の準備を事細かく行い、きめ細かく教えることから一転し、学生の皆様が自ら疑問を持ち、自ら調べ、自ら解答を出すという能動的な学びの姿勢にリセットする必要があるのだ

す。教員は皆様をサポートして的確なアドバイスをすることになります。つまり、教員主導から学生主導に変わることを理解してください。本学の特色は、先生方が学生の一人一人を大切に手塩にかけて見守り、適切なアドバイスを行うことです。

さて最後に、私の経験から学んだこととお話し、学長式辞としたいと思います。

もし、大学や社会の中で自分の意見を聞いて欲しいのであれば、まずは人の意見を聴ける人間になってください。そうすれば、自分の意見をたくさん聞いてもらえるかもしれません。もし、自分を認めて欲しいのであれば、周囲の人や他人を認める人間になってください。そうすれば自分を認めてもらえるかもしれません。もし、自分が幸福になりたいのであれば、周囲の人を幸福にしてあげてください。そうすれば、自分も幸福になれるかもしれません。人は謙虚さを失ったとき、人格も失うかもしれません。相手を打ち負かして喜ぶ時は、自分自身には負けた時かもしれません。大学の中では、あなた達は未熟です。幾らでも恥をかいで構いません。質問することは一時の恥で済みますが、知らないままにすることは一生の恥になるかもしれません。

寂しさに打ち勝つ強さ、失敗をおそれない強さ、質問することを恥じない強さを持ち、躊躇することなく新たな環境に飛び込み、かけがえのない人たちと出会い、どん欲に学び、その中で自分を磨き上げて、大学で必ず自分の将来の基盤を作ってください。心から期待をしています。

本日は、ご入学おめでとうございます。

令和6年4月7日

宮崎国際大学学長 村上 昇